

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター こぐま園 (評価実施は利用終結時)		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別のニーズに合わせて対応すること。	・検査を取ったり、ニーズに応じた対応や教材を考えること。 ・その都度保護者や訪問先施設と状況や課題を整理し共有すること。	・個別のニーズに対応できる専門性を身につけること。
2	・有資格者で対応していること。	・ニーズによって、どの職種が適切かを話し合っ訪問者を決めること。 ・場合によっては、保護者、訪問先の子承を得ながら他機関とも連携すること。	・訪問先のニーズに対応できる専門性を身につけること。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援に使用する教材(アプリを使用するためのタブレット、)や検査ツール。	・専任ではないこともあり、教材の選定や用意をする時間の確保	・他業務との時間配分。
2	・緊急時の対応について訪問先施設と連携して実践できるようにしていくこと。	・こぐま園ではなく、訪問先施設に合わせ対応していく必要がある。	・訪問先と事前に相談し、緊急時の対応について共有すること。
3	・子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、周知・説明するなど迅速かつ適切な対応をすること。	・開始する際の説明事項が多い。	・具体的にポイントを絞って情報提供することが必要。